

FM.クマガヤ株式会社 第12回番組審議会議事録

1 開催年月日 令和4年1月26日(水)12時00分～13時00分

2 開催場所 和とう 肥塚店

3 委員出席

委員総数 5名

出席委員数 3名

出席委員 長谷川 隆一

小林 義治

山下 祐樹

放送事業者側出席者 宇野 元英

高井 昭博

4 議題

(1) 審議番組の放送内容について

(2) 次回の開催日程

(3) その他

5 議事の概要

放送及び、局全般についての意見を求めた。

6 審議内容

(1) 審議番組の放送内容について

審議番組

番組名 こちら石原小学校放送局！

放送日 11月1日(月)12時00分～12時54分

担当パーソナリティ 新井 弘美

- (委員) 聴き入ってしまうほど、とても良かった。小学校の給食の時間を使い、しかも、コロナの影響により通常の修学旅行ではなく熊谷市内を巡るといふ新しい試みの「熊谷の修学旅行」について、校長先生の口からしっかり聴かせてもらい、とてもワクワクした。
- (委員) 素晴らしい放送だと思う。石原小学校の児童が星溪園へ訪れた時に対応したのだが、それを思い出した。地元のことを知って学ぶ機会をつくるという試みを放送で記録化できたのはとても良いことだと思った。埼玉新聞や熊谷経済新聞（ネット新聞）でもこの修学旅行について取り上げられ、FM クマガヤでもこういった放送がされたということが地元のメディアとしてとても面白いと思う。今後、他の学校でも続いて行われたらなと思った。
- (委員) 地域ならではの、地元の放送局らしい番組だと思った。実際に学校へ出向いてサテライト放送したことにより、途中でチャイムが聞こえるなど、リアル感があって良かった。コロナで遠くに行けないから地元でどういうことができるかをいろいろな方々と打ち合わせをして実施されたということが放送を通じてわかったのも良かった。放送を通じて、コロナ禍であっても前向きに、こういう時だからこそ地元を知ろうという意気込み、先生や地域の方たちが盛り上げてきているというの伝わってきた。児童たちも最初は緊張しているような感じだったのが、結構話せる子たちで楽しめた。和気あいあいとした番組だと思った。
- (事業者) 私も実際に現場で放送に立ち会っていたのだが、とても元気をもらった。
- (委員) 今回のように、子どもたちが出演すると保護者や周りの方が聴いてくれるので、FM クマガヤのPRにも繋がると思う。
- (事業者) 先ほど「児童たちも最初緊張しているような感じだった」とのことだが、最初児童たちが何を話したいかというのをあらかじめ作ってきたものを読んでいたもので、そういう雰囲気になったのだと思われる。反対に後半は、そんな感じもせずにスラスラ喋っていたのは、思いのほか用意したものが早く終わって手元に何もなくなった状態でトークしたので、本人たちの本当に思っていたことを素直に話せることができたと思われ、より共感いただけたのかと思う。2020年に「みんなに届け！先生たちからのメッセージ」という休校中の児童・生徒に向けて小・中・高等学校の先生たちがメッセージを送る特別番組を企画したが、その際、最初に手を挙げてくれたのが石原小学校だった。今回みたいに子どもたちも出演しているというのは全国的にも珍しいと思う。

(事業者) 保護者や卒業生にとっては今の学校生活を知ることができるし、子どもにとっても良い経験となる。また将来、子どもたちの中から FM クマガヤのパーソナリティが誕生したら面白い。改めて小・中学校を巻き込むのは大事だと思った。

(2) 次回の開催日程

令和4年月下旬を予定。

- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
審議番組の制作会議を実施し、番組構成の協議を行った。(令和4年2月2日)
- 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表
公表の方法
 - ①自社放送
 - ②自社ホームページ(<https://fmkumagaya.com>)への掲載
 - ③事務所への据え置き公表の内容
審議内容の要約
- 9 その他参考事項
特になし。